



子どもの貧困解決に向けた市民の声

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、2010年11月に、
SOAP DAYS 2010“声をあげよう！一緒に話そう！日本の子どもの貧困のこと”を実施しました。
ワールド・カフェを通じて集まったみなさんの声をぜひご覧ください！

“子どもの貧困”ここが問題！

◆「心」がつぶれるのが子どもの貧困。それだけで問題だと

思います。(22歳・学生・男性)

◇比較されて育つ子ども社会の中で、相対的貧困は本当にきつと感じます。(28歳・教員・女性)

◆7人に1人は、問題であると思います。子どもは敏感ですし、恥ずかしいって気持ちもあると思うので、もっと広く認識されるようになる必要があると思います。(25歳・大学院生・女性)

◇貧困は子どもの生活・心に大きな影響を及ぼすから。(20歳・学生・女性)

◆金銭よりも心、精神の問題が強い。(21歳・学生・男性)

◇子どもがかなしんだり、くるしんだり、さびしいきもちになるから。(36歳・NPO職員・女性)

◆子どもたちの生きる希望が失われること。親達も子育てがとても難しい、きびしい社会になっている。(48歳・女性)

◇世界の貧困は“絶対的貧困”で、物質面・経済面での貧困ですが、日本の貧困は“相対的貧困”であり、「みんなと同じ物が買えない」「みんなと一緒に遠足に行けない」などと疎外感を持つ原因となりうるので、問題だと思います。(26歳・自営業&著述家・女性)

◆子どもに苦しい・悲しい思いをさせるし、そういう感情を押し殺してしまうこともあると思うので、自分を発揮できなくなるのも問題だと思う。(23歳・大学院生・女性)

◇心の貧困などお金の面だけでなく様々な問題があると感じます。(20歳・学生・女性)

◆こどもがなやんだり、つらい思いをすること自体が問題だからです。(20歳・学生・女性)

◇単純に、子どもが精神的に圧力を受けることが問題であると思います。(22歳・学生・男性)

◆死んだらえらいことだと思うから。(28歳・大学院生・男性)

◇満足に教育機会を持っていない、夢を持たない子どもが多い。(26歳・NPOスタッフ・男性)

◆かていのケイザイの事情で、がっこうにかようのに、じぶんでかせがなならん子がおるけれど、一方でふつうに小学校から大学までいくことがでいる子がおるといふかくさがあること。(25歳・学生・女性)

◇「教育」(37歳・会社員・女性)

◆無限の可能性を持つ子どもの機会を失わせることにつながるから。(49歳・会社員・女性)

◇「お金がない」というだけで、今日のワールドカフェのように、いろんなことを知ったり勉強する場、人としての幅を広げる機会に参加するチャンスが少なくなってしまうと思うから。(23歳・会社員・女性)

◆子どもたちに平等にチャンスが与えられない世界はおかしいと考えるからです。ただ自身で努力する意思、行動は必要だと思います。(28歳・派遣社員・女性)

◇生まれながらにして機会のない社会に疑問を感じざるを得ません。(22歳・学生・男性)

◆機会の喪失や生きづらさにつながる(27歳・NPOスタッフ・男性)

◇それぞれの子どもの本来持っている力を十分に発揮するための機会が必ずしも保障されているとは言えない現状があるので。

子どもたちに
与える影響



(28 歳・大学教員・男性)

◆**子どもが子どもでない状態こそ問題**です。(20 歳・学生・男性)

◇子どもらしくられない。(22 歳・学生・女性)

◆子どもに責任がないことで大きな不利益を受ける。(52 歳・弁護士・男性)

◇このワークショップで子どもの貧困＝子どもらしさがうばわれることという一つの考え方を知ることができました。そう考えると、子どもらしさを奪われている子どもというのは現にいますと感じているので、問題だと思います。(20 歳・学生・女性)

◆子どもらしさが奪われることによる将来への影響が計りしれないから。(37 歳・エンジニア・男性)

◇**まだ、その問題があるという現実を知らない方々多いことにまず問題がある**と思います。その現実を周知した

周知した上で、みんなでとりくむ社会にしていけたらと思います(36 歳・社会人・女性)

◆貧困に対して人びとの共通認識がないため、困っている人に対して鈍感な空気がないだろうか。(25 歳・女性)

◇貧困よりも、貧困に対する周囲の人に問題があるのではないかと。また全ての人が貧困に対して当事者意識を持っていないのが問題では。(20 代・会社員・男性)

◆貧困が認知されていないのが問題(不明)

◇問題をリアリティを以って問題だと思えていない社会と子どもたちのささいな変化(心の問題/虐待/貧困等)に気付いて手を差し述べられない社会が問題。(20 代・学生・女性)

◆社会があまりにも無関心すぎる気がするため。(24 歳・学生・男性)

◇**貧困自体も問題だけど、それを解決しない・しようとしないことも問題**で、これをひっくり返して貧困というのではないかなと思いました。(23 歳・大学院生・女性)

◆社会のあり方全体が問題だと思う。それに対する私たち構成員一人一人のスタンスや行動にも課題があると思います。(26 歳・会社員・女性)

◇子どもの貧困は社会の貧困だと思います。貧困の芽を育ててはいけないと思います。(23 歳・生活保護ケースワーカー・女性)

◆金銭的な課題だけでなく、排除された子どもたちを受け止める場を早くつくりあげて、負のスパイラルを断ち切る方法をたくさんちたいし課題だと思いました。(女性・会社員)

◇解決しようとすればできるはずなのに、有効な手が打たれていない。(42 歳・会社員・女性)

◆**子どもの貧困を解決出来ない社会に未来はない**と思います。(46 歳・自営業・男性)

◇相対貧困率とともに少子化は日本の国体維持にとって大きな問題であると思う。(41 歳・会社員・女性)

◆子どもの貧困は日本の将来につながる問題だと思う。(17 歳・高校生・女性)

◇子どもが健全でなければよりよい社会、未来がつかれないと思うので。(女性・会社員)

◆放っておけばさらに悪くなっていくと思うし、人々が困っていることにはわからないから。子どもは「宝」だと思うから。(18 歳・高校生・男性)

◇**社会から見えにくくなっている**ことが問題だと思った。(37 歳・団体職員・女性)

◆可視化できない。「貧困」に(言葉に)結び付きにくい。(31 歳・公務員・男性)

◇ただ、分断されていて**実体が見えない**。(24 歳・会社員・女性)

◆貧困が子どもに与える影響は問題も、原因もつきとめることができないくらい複雑だからこそ問題だと思いました。(学生・女性)

◇いちばん問題なのは、**再生産**されること。(19 歳・学生・女性)

◆**問題が定義されておらず実態も判っていないのでよくわかりません**。でも今日来て、「よく判らない」と

いうことがよく判りました。自分にとっては意味あり。(41 歳・会社員・男性)

◇貧困はどんな所にも必ずある問題だと思っています。それは、決して人数

子どもの貧困
と社会



そもそも
子どもの貧困とは？



等の数字的なものだけでなく、ひとりひとり個々の心の中にあるものではないでしょうか。(32歳・公務員・男性)

◆『貧困』と決めつけはよくない。でも、実態を把握していく必要性はある。(30代・児童育成指導員・女性)

◇日本が貧困だと思います。そしてその日本にいる子どもたちもちろん。でも貧困じゃない人って一体そもそも誰なのか分かりません。(24歳・大学院生・女性)

◆貧困が何なのか、日本と世界を分ける必要があるのか、色々と論点はあるかと思いますが、苦しんでいる人がいる事実は変わらないでしょう。(22歳・学生・男性)

◇「貧困」というイメージのつくり方が、おとなも子どもも問題だと思いました。(30歳・学生・男性)

◆「途上国と比べたらマシ」という認識が普及しているから問題。(22歳・学生・女性)

◇日本の子どもの問題を言うとき、よく海外の途上国の現状と比較する。でもそうすることで日本は恵まれているという風潮があるように思います。それは日本の問題をないものにしてのと同じに思えるから。(27歳・学生・男性)

◆今日の話し合いでもよくできてきましたが、他国と比べると、先進国である日本が豊かなのはあたりまえです。日本内で基本水準の生活をおくれていることは問題以外の何でもありません。もっと社会が深くうけとめるべきだと思います。(22歳・学生・女性)

◇苦しんでいる子どもがいる、という事実がある限り問題だだと思います。(21歳・学生・女性)



“ストップ子どもの貧困”私たちができること！

◆ちゃんと現実、特に身の回りに目を向けようと思いました。(20代・学生・女性)

◇自分の無知を知りました。事実をできるだけ多く知りたいです。(21歳・学生・女性)

◆ベトナムの社会で地域のつながりの点から、日本になくて、なくてはいけないものを見つけよう。(26歳・会社員・女性)

◇権利についてより深く学ぼうと思います。(25歳・大学院生・女性)

◆もう少しいろいろ調べてみます(41歳・会社員・男性)

◇もっと問題について知り、周りに伝えていきたいと思いました。(17歳・高校生・女性)

◆自分の中で考えが深まると思うし、もっと色々なことを調べてみようと思いました。私が考えなかったこともきけたので…。私は子どもの貧困について研究中なので、研究をすることで他の人にももっと知ってもらおうと思います。(23歳・大学院生・女性)

◇目を向けることを考えることができました。そこから自分に出来ることをしていきたいです。(20歳・学生・女性)

◆もっと現状を知ること。子供の声を聞くこと。それと社会の問題をリンクさせながら、自分にできることを考えていくこと。(学生・女性)

◇小さいけれど、ここに来たひとりひとりが考える。それによって、少しずつでも広がっていけば、それが行動になるのでは？(19歳・学生・女性)

◆まずは自分の中で整理したい。(23歳・学生・男性)

◇「考える」のも行動ということで、「貧困」にかわる言葉を考えてみます。(31歳・公務員・男性)

◆自分自身が偏見を持たないこと(「かわいそう」「途上国の方が大変・日本はまし」という意識。)(22歳・学生・女性)

◇私自身がもっと子どもの声に耳を傾け、子どもの貧困について考え、それを発信していきたいと思えます。(20歳・学生・女性)

◆100人の調査の手法で子どもたちと話してみようと思います。(女性)

◇最後に考えた自分にできること「みずごさない、コミュニケーションを大事にする」ということです。また色々な人と交流できるこのような場に積極的に関わってみたいです。(22歳・学生・女性)

◆大きなことはできないが、自分が笑顔でいること、子どもと交流することも大切だと思ったので実行したいです♡(20歳・大学生・女性)

◇授業のプログラム開発のアルバイトを大学でしています。プログラム開発に当たり、大学付近の小学、中学、高校と連携して取り組めるような授業をつくりたいと思います。(24歳・大学院生・女性)

◆人に伝えることを仕事にするため、様々な子どもと交流する機会を見つけたい。(24歳・学生・男性)

◇生活保護を受けている子どもたちに対して、中3勉強会をしています。その子どもたち

にできることをもっと考えていこうと思います。(23歳・生活保護ケースワーカー・女性)

◆学生という立場をいかした心の教育(21歳・大学生・男性)

◇**今回の内容を友人たちに話したり、ボランティア活動を行うことにより、草の根レベルで周囲の認識をかえていく。**(49歳・会社員・女性)

◆友達に話します！！(19歳・男性)

◇友人と貧困について話す！！広める！(23歳・会社員・女性)

◆友人や周りの人とシェアして、さらに考えの幅が広がられたらいいと思っています。それをどんどん広めていきたいです。(28歳・派遣社員・女性)

◇問題を視える化していこうと思います。いろんな人と話していきます。(27歳・NPOスタッフ・男性)

◆今日感じたことを拡げていきたいです。(23歳・会社員・男性)

◇周りの方々に伝えていくとともに、自ら情報を集めていきたいと思いました。そのうえで、出来ることから実施していきたいです(36歳・社会人・女性)

◆日本にも貧困は広がっている事を発信していきます。(37歳・会社員・女性)

◇“貧困”をキーワードに色々な人と話す。ワールドカフェを広めていく。→すごくたのしかったです。必要な議論の方法だなと思いました。(19歳・学生・女性)

◆自分から情報発信をしていく！！(26歳・自営業&著述家・女性)

◇「伝えること」(22歳・学生・女性)

◆自分が知っていることを伝える。自分の行動に責任を持つ。ポジティブになって、社会・人のために行動してみる！！(27歳・学生・男性)

◇広報活動(個人でもこのような活動して行きたいです)。(20歳・学生・男性)

◆大学の講義などを通して、こうした問題に目を向け、取り組む人を増やすきっかけづくりを、これまで以上に意識して行いたい。(28歳・大学教員・男性)

◇広く問題に気づいてもらう。(37歳・エンジニア・男性)

◆**分かりやすい活動を展開する必要がある**と思った(52歳・弁護士・男性)

◇このような活動を東京・京都という大都市だけではなく、私の勤める地方の都市(静岡県磐田市)でもできればいいなと思います。そのためのお手伝いをしたいと思いました。子どもの貧困に都市と地方はないと思います。(32歳・公務員・男性)

◆今回のようなワールドカフェの開催を支援したい。(41歳・会社員・女性)

◇もう少しいろいろと情報発信したいと。次回は大学などの奨学金制度や母子家庭の支援について。私の職場で講座を来年度にぜひ！(48歳・女性)

◆こういう場をもっとつづけていく。(26歳・NPOスタッフ・男性)

◇たくさんの考えを、もっともっと知りたいと思ったので、**このような場にもっと、もっと、出向いていきたい、いこう、**と思っています。(20歳・学生・女性)

◆ワンワールドフェスティバル(18歳・高校生・男性)

◇なにか私にできるボランティアなどがあれば参加したいと思い始めました。(24歳・就活生・女性)

◆SCJ Youthの活動に活かしたいと思います。自分でも子どもの貧困について、より深く考えていきます。(22歳・学生・男性)

◇古い物をうったお金を、マクドにぼきん。きはずかしくおもわずに。(25歳・学生・女性)

◆政策提言などへの署名？**声をあげることへのサポート**ができるのでは。(37歳・団体職員・女性)

色々できることがあるんだ！



【お問い合わせ先】

(社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 事業部日本/津田

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-8-4-4F

TEL: 03-6859-6869, FAX: 03-6869-0069, E-mail: soap@savechildren.or.jp



Save the Children
JAPAN